

第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005

The 3rd Fukuoka Asian Art Triennale 2005 Parallel Realities : Asian Art Now

3年に一度、アジア美術のフェスティバル

福岡アジア美術館が、総力をあけて3年に一度開催する「福岡トリエンナーレ」。その第3回展が、今秋、いよいよ開幕します。この国際美術展は、福岡市が20年以上かけて培ってきたアジア各国・地域とのネットワークを活かして開催されるもので、現地調査のなかで出会った新進気鋭の若手アーティストから、海外の美術展を騒がす実力派まで、まさにアジア美術の最前線を紹介するダイナミックな展覧会です。

テーマは「多重世界 Parallel Realities: Asian Art Now」

高度な映像・通信テクノロジーが日常の隅々に浸透する現代の社会。そこには、ローカルとグローバル、ナマの現実とデジタル情報、同じ価値観を持つ人々と考え方や感じ方の全然違う人々など、本来は互いに交流・干渉するはずのなかった世界・社会・コミュニティが、同時に、あるいは隣接して存在しています。「第3回福岡トリエンナーレ」では、こうした状況＝「多重世界」が、様々な衝突や問題の起こる危険性をはらみながらも、一方で、文化や社会の境界を越えていくポジティブな可能性をもつことに注目していきます。

会場には、小さいひそやかな彫刻からイキのいいサウンドつき映像まで、昔なつかしい素材から現代的なインテリアまで、リアルな日常からマンガやゲームの世界まで、バラエティ豊かな作品約80点が登場します。こうした作品による「多重世界」を目の当たりにすることで、本来は自分の世界と交わることのない「パラレル＝平行する」世界との距離を縮めたり、離れたままで和声を奏でたり、合体したり、時には交差するような、創造的な体験ができることでしょう。

「この時間」「この場所」「この人」～ライブな展開

「福岡トリエンナーレ」は、開幕したときに展覧会の完成形ではありません。会期中も数多くのアーティストが福岡に滞在し、美術館の内外で作品を制作したり、ワークショップやパフォーマンス、ギャラリーツアーなどを行う「交流プログラム」を展開していきます。アジアのアーティストが、福岡という場所で、様々な人々を巻き込みながら作品やイベントを生み出していく…その瞬間に皆さんも立ち会ってみませんか。



ハニ・アビディ(パキスタン)



ホン・ソンミン(韓国)

堀田千春(日本)

「福岡トリエンナーレ」って何？

トリエンナーレとはイタリア語で「3年に一度」を意味し、3年ごとに開催される多くの国際美術展がそう呼ばれています。「福岡トリエンナーレ」は、アジアに焦点を当てた現代美術展で、1999年の第1回展以来、毎回異なったテーマのもとアジアのフレッシュなアーティストを紹介してきました。

アジア21カ国・地域より50人・組のアーティストが参加

アジアの現代美術の最前線を担うアーティストを厳選。特に今回は映像と情報の洪水のなかで育ってきた若手アーティストの登場が目立ちます。新人類アーティストたちが創りだすアジア美術の新世紀にご期待ください。

とことん

福岡トリエンナーレを楽しむには

ひとつ

見どころを早めにチェック

「福岡トリエンナーレを10倍楽しむ事前学習」

参加アーティストをゲストに迎えるトークやビデオ上映

- プレゼンター：黒田雷児(福岡アジア美術館学芸課長)
- 日時：7月29日、8月5日・12日・19日・26日、9月2日の毎週金曜日18:00～19:30
- 会場：福岡アジア美術館7階 彫刻ラウンジ
入場無料(要申し込み)

ふたつ

オープニングはイベント目白押し

開幕を記念し、20人を超す参加アーティストたちが、ギャラリーツアーやワークショップ、パフォーマンスなどのイベントを繰り広げます。

●9月17日(土) 13:00～

「ギャラリー・ツアー」

作家自身が作品を前にそのコンセプトや背景について話します。

「パフォーマンス」

- ①ティアルマ・ダメ・ルス・シライットの衣装に身を包んだ舞踏家たちによるファッション・パフォーマンス
- ②ティファニー・チュンがデザイン・演出するベトナム人ポップ・シンガーによるステージ・ショー
- ③ツァオ・フェイの作品内で福岡のコスプレイヤーたちがパフォーマンス

●9月18日(日) 11:00～

「アジア楽市楽座 リターンズ」

アジア雑貨やアートグッズのフリーマーケット、アーティストによるワークショップやパフォーマンスなど

●9月19日(月・祝) 14:00～

「アーティスト・トーク」

みつ

話して、見て、作って、参加する

せっかくアーティストたちが美術館にのだから、話をしたり、パフォーマンスを見たり、作品を作ったり、参加しなきゃ損というもの。ひと粒で何度でも楽しめる展覧会なのです。

よっ

情報収集はあじびメールで

あじびメールに登録すれば、福岡トリエンナーレのイベントなどの最新情報や舞台裏情報がEメールで送られてくる。登録は福岡トリエンナーレのホームページで。
<http://faam.city.fukuoka.jp/FT/2005/index.html>

いつ

万感、展覧会フィナーレ！

「クロージング・パフォーマンス」

これまで福岡トリエンナーレをとことん味わい尽くしたあなたなら、展覧会フィナーレはもう涙もの。キル・ユア・テレビジョン(シンガポール)のパフォーマンスを見て一緒に泣こう。



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
TEL.092-263-1103 <http://faam.city.fukuoka.jp/>

福岡アジア美術館へのアクセス

市営地下鉄

- 福岡空港から：「福岡空港」駅より9分、「中洲川端」駅下車、徒歩すぐ
- JR博多駅から：「博多」駅より3分、「中洲川端」駅下車、徒歩すぐ
- 西鉄福岡(天神)駅から：「天神」駅より1分、「中洲川端」駅下車、徒歩すぐ

西鉄バス

- 「川端町」バス停下車、徒歩すぐ

車

- 北九州方面から：都市高速「呉服町」出入口より車で約5分

- 太宰府方面から：都市高速「千代」出入口より車で約7分

ブツカル ウズマク マイアガル

第3回 福岡アジア美術 トリエンナーレ2005

The 3rd Fukuoka Asian Art Triennale 2005
Parallel Realities: Asian Art Now

多重世界

3年に一度 アジア美術の フェスティバル

福岡アジア美術館

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階

2005年9月17日(土) - 11月27日(日)

開館時間 10:00～20:00 [入館は19:30まで]

休館日 水曜日 [但し、11月23日は開館し、翌24日が休館]

観覧料 一般 1,000(700)円/高大生 700(400)円/中学生以下無料

※()内は前売。20人以上の団体、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・福岡市発行のシルバー手帳及び北九州市発行の年長者施設利用証提示者の料金

主催：第3回福岡トリエンナーレ実行委員会、福岡アジア美術館、西日本新聞社、RKB毎日放送
後援：外務省、文化庁、参加各国駐日大使館、財団法人 福岡市文化芸術振興財団、イニミニエモ8963博多リバレイン、博多リバレイン管理株式会社、博多リバレイン専門店振興会

助成：財団法人 地域創造、芸術文化振興基金

国際交流基金、POLAアート美術館財団

花王芸術・科学財団、野村国際文化財団

財団法人 福岡文化財団、アジア文化カウンスル

協賛：味の素株式会社、ソニーマーケティング株式会社、

バイオニア株式会社、三菱電機株式会社、

株式会社NTTデータ九州、

ブラックバーン市(イギリス)

<http://faam.city.fukuoka.jp/FT/>



